

ガザで増加する軍事活動

2008年3月4日 アシェル・イントレーター

約3年前、イスラエルはガザの入植地に住んでいたすべての住人(9000人)と駐留軍すべてを撤退させました。その直後、ガザ政府を Hamas が乗っ取りました。それ以来、イスラエルの失望をよそに、Hamas の政府はイスラエルに対してテロと聖戦(ジハード)のプロパガンダ活動を続けています。

2月27日水曜日、Hamas はイスラエルに対してミサイル攻撃を増やし始めました。水曜日から土曜日にかけての5日間、この記事を書いている時まで、183発のミサイルがガザからイスラエルに打ち込まれ、それには20発のグラッド・ミサイルが含まれ、そのうち何発かはアシュケロン(人口12万)に着弾しました。

イスラエルはジレンマに陥りました。我々は彼らの攻撃をそのまま継続させることは受容できません。世界のいかなる国も、他国から居留区にミサイルを撃ち込ませる国はありません。ガザを再占領するということは、さらに多数の犠牲者を出し、その後治安を維持することはほとんど不可能になります。政府はガザに対して断固として、かつ中程度の作戦行動によってロケット攻撃を阻止することに決めています。

金曜日から土曜日の夜の間、イスラエル国防軍のギヴァティ師団はガザの主にギバリア地区、イスラエルの街ステロットの反対側、最もロケット攻撃を受ける場所に入りました。イスラエルの攻撃は以下の目標を破壊するのを目的としています。1) Hamas 本部と指導者。2) 武器弾薬庫。3) ミサイル発射場所。4) 武器を運ぶトラック。5) Hamas の武装勢力。

戦いにおいて困難なことの1つは、Hamas は意図的にミサイルをイスラエルの居留区に発射し、自身の兵器をパレスチナ居留区の真ん中に設置することです。Hamas のプロパガンダはイスラエルによる破壊を非難し、同時にガザの市民たちを、攻撃目標となる場所に集結させ「人間の盾」として立たせるのです。

1つの例として、イスラエル軍は、ギバリア近郊の人口密集地にあった160発のミサイルを積んだトラックを爆破させました。最近の戦いで、両サイドにおいて何百人もの怪我人を出し、何千人が爆撃によって「ショック」を受けています。軍事的に、もちろんのことながら、パレスチナ人はより大きな被害に苦しんでいます。3人のイスラエル人が殺され、およそ100人のパレスチナ人が殺されました。ガザの市民たちの状況は悲惨です。

イスラエルの軍事的目標は、軍事力を使ってテロや爆撃を止めることですが、無実な民間人を傷つけないように、可能な限り行うことは困難なことです。

我々の教会では安息日に、この状況について取りなしのため時間をある程度取っています。祈りの範囲は、イスラエルの軍事的勝利からパレスチナ人に対する憐れみまで広がっています。興味深いことに、パレスチナ人に対する憐れみのための祈りは、直接戦闘経験のある若いイスラエル人から出て、テロに対する決定的なイスラエルの勝利に対する祈りは、パレスチナ人を支援する経験を持つイスラエル人から出たことです。

ここでの戦いは軍事的なものから霊的なものまであり、かなり複雑になっています。これらの問題を整理するための識別項目は以下の通りです。

1. **アラブ人**(パレスチナ人) – 神がすべての人を愛するように、神が愛される民族集団であり、我々も彼らを愛しています。我々は彼らの救いを祈り、人道的な支援、宣教活動を支援し、パレスチナ人クリスチャンと共に和解を実施しています。

2. **イスラム** – ムハンマド(モハメッド)とその信奉者の教えをベースとした宗教。我々は、それは偽りの教えと信じています。イスラムは宗教として、正しい聖書的な教えと教育によって取り扱わねばならないと思います。

3. **ジハード**(聖戦) – イスラム教徒の間での、イスラムによる支配という目標達成のために、西洋文明とイスラエルの破壊を呼びかける姿勢です。それは、私の意見として悪霊から来たもので、黙示録が「獣」と言及しているものとつながっていると考えられます。

4. **テロ** – 無実な被害者を殺す方法で、恐怖心を起こさせて、政治的または宗教的な目標を達成させるため人々を支配することです。テロは、最初は犯罪行為でしたが、年を追って増加し全面的な軍事攻撃となっています。テロリズムは強力かつ徹底した警察と軍事行動によって対抗しなければなりません。

5. **ハマス** – イスラム過激派で、現在ガザ政府の代表となっています。ガザの市民たちを代表する地位につけた選挙は、状況をより悪化させました。彼らが政権を取った時、彼らはイスラエルを憎悪するよう奨励するだけでなく、ガザに残された小さな福音的キリスト教共同体を迫害しています。

イスラエル軍には多くのメシアニック・ジューがおり、幾人かは我々の教会から従軍しています。我々は彼らの安全のために祈っています。今晚私はある牧師の息子が、腓骨を狙撃されたというニュースを聞きました。銃弾は貫通しましたが、特に重篤な損傷とはなりませんでした。

どのように祈るべきか。

- イスラエル軍がテロリストの施設を破壊できるように。

- ガザの市民たちへの被害が最小限となるように、そして人道的支援がなされるように。
- アラブ人へ福音が述べ伝えられるように、そしてイスラムの嘘から救い出されますように。
- 聖戦(ジハード)のメンタリティの背後にある悪霊が縛られ、分裂するように。
- 反ユダヤ主義と反イスラエル・プロパガンダに反駁できるように。
- 軍内部にいるメシアニック・ジューに対して聖霊の導きがあるように。
- ハマスやそれに類する団体が失墜するように。
- 福音がユダヤ人に述べ伝えられるように。
- イスラエル人メシアニック・ジューとパレスチナ人クリスチャンとの間の和解の証のために。

注 1: 一体なぜなのか。

イスラエル人がガザから撤退して以来、ハマスはテロを継続して扇動しています。彼らは、自分たちは「イスラエルによる占領」に対して闘っていると述べています。イスラエルがすべての軍事力をガザから撤退させたのに、なぜそんなことが言えるのでしょうか。それは、「イスラエルによる占領」というのは、イスラエル国家そのものを指しているからです。彼らは、我々の民(イスラエル人)を滅亡させるために闘っているのです。

イスラエルはより強力な軍事力を持っているが、なぜガザにいる敵対勢力を掃討しないのでしょうか。イスラエル軍はそれを行うことは簡単です。答えは、国際的プロパガンダに関わらず、イスラエルの市民たちと政府は、無実な人々が殺されるのを見たくないからです。イスラエルは、人道的な理由で自分たちの軍事力を押さえているのです。

注 2: 軍事力と福音

多くのクリスチャンは、福音書による和解への呼びかけと同時に、時には軍事力を使うことが必要であるということに混乱しています。これには何の矛盾もありません。警察と軍は、牧師や宣教師のように、神のしもべなのです。(ローマ 13:4)我々のメッセージや活動を拒絶する人々に対して力を用いることは一切してはなりません。それはイエシュアがサマリア(ルカ 9:55)で言われたように、報復という誤った霊性です。実際、それが聖戦(ジハード)の問題なのです。彼らは暴力を使って、彼らの宗教的見解を強制しているのです。

人々が我々を拒絶した時、我々は愛によって対応し、お返しとして祝福します。我々はアラブ人であるということでアラブ人を拒絶しません。そんなことは断じてあってはなりません。それは人種差別です。我々は、イスラム教徒に対して、彼らがイスラム教徒であるということで力を行使しません。我々が力を行使するのは犯罪者や殺人者、テロリストや圧制者—宗教的、民族的な背景を問わず—に対してです。霊的な目標のために、人々に対して力を行使しません。我々が力を行使するのは、人々が法を破った時です。そのような点で、我々はテロリストに対して、組織的犯罪や圧政に対応するのと同じように対処するのです。